

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	森重 功一		
居室	東4 - 522		

公開E-Mail	授業関連Webページ
	http://www.ims.mce.uec.ac.jp/m-shige/clb/index.html

【主題および達成目標】
総合情報処理センターの端末の基本操作を習得し、計算機やネットワーク環境への入門とする。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
参考書：渡辺 成良、若月 光夫、織田 健 共著『UNIXコンピュータリテラシー』（共立出版）

【授業内容とその進め方】

以下のような内容を予定している。

- 1．ログイン、ログアウト、パスワードの管理等、端末利用のための基本を学ぶ。利用できるソフトウェアの紹介。
- 2．UNIX OS (Operating System) の概要と基本操作を学び、Mule等のエディタ (Editor) の基本操作や日本語入力方法を習得する。
- 3．電子メールの利用方法。
- 4．UNIX OS におけるファイルシステムやディレクトリ等の概念を理解し、ファイルの作成、移動、削除等の基本操作について習熟する。
- 5．ブラウザを使ってWWW上の情報を検索する方法について実習する。さらに、自分の Web ページを作成して、WWW上に情報を公開する方法について学ぶ。
- 6．LaTeX (ラテックまたはラテフと読む) は世界中で広く使われている組版ソフト (印刷ソフト) や、グラフ作成ツール、ドローツールの操作方法について学ぶ。

毎回、出席をとります。レポートを電子メールなどにして数回提出させます。

講義時間中は、2人のTA (Teaching Assistant: 本学の大学院博士前期課程学生) も質問に答えてくれます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

- ・ 中間試験・期末試験は行わない。
- ・ 出席状況、講義中に出す課題の提出状況と内容などから総合的に判定する。

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とする。

- ・ すべての課題が受理されていること。
- ・ ネットワークを利用するものとしてのマナーを理解していること。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電子メールで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

将来、勉学や研究に必須の道具ですので早めにマスターするとよいでしょう。

2学期の「基礎プログラミングと演習」には、これが出発点となります。

【その他】

特になし